

平成 2 1 年度鳥取県営企業会計
決算概要説明資料

企 業 局

平成21年度電気事業会計決算概要

1 事業の概要

電気事業は、7箇所の水力発電所と1箇所の風力発電所で発電し、発電電力は中国電力株式会社に全量売却し、県内の各家庭や企業へ送られています。

2 収益的収入・支出

(1) 経常収支

平成21年度の経常収益は、前年度より43百万円減の1,794百万円となりました。
経常費用は、前年度より50百万円減の1,677百万円となりました。
この結果、当年度経常利益は117百万円となり、前年度より7百万円の増となりました。

(2) 当年度純利益

平成21年度は、特別利益、特別損失とも計上されなかったため、当年度純利益は経常利益と同額の117百万円となりました。
当年度純利益は、利益剰余金として減債積立金（企業償還原資）へ全額積み立てます。

(3) 対前年比較

(税抜、単位:千円)

区 分	21年度	20年度	差 引	備 考
収 益	1,794,027	1,844,290	△ 50,263	
営業収益	1,723,839	1,773,894	△ 50,055	
電力料	1,723,839	1,764,566	△ 40,727	
水力電力料	1,672,982	1,718,152	△ 45,170	売電料金改定(H20:11.15円→H21:10.71円)
風力電力料	50,857	46,414	4,443	
営業雑収益	0	9,328	△ 9,328	
営業外収益	70,188	62,773	7,415	
小計①(経常収益)	1,794,027	1,836,667	△ 42,640	
特別利益	0	7,623	△ 7,623	
費 用	1,676,998	1,729,674	△ 52,676	
営業費用	1,400,718	1,426,472	△ 25,754	
水力発電費	1,193,419	1,199,692	△ 6,273	減価償却費の減少
風力発電費	43,869	44,778	△ 909	
一般管理費	163,430	182,002	△ 18,572	人件費の削減
営業外費用	276,280	300,385	△ 24,105	
小計②(経常費用)	1,676,998	1,726,857	△ 49,859	
特別損失	0	2,817	△ 2,817	

当年度経常損益(①-②)	117,029	109,810	7,219	
当年度純損益(収益-費用)	117,029	114,616	2,413	

実質資金収支	586,718	651,164	△ 64,446	
--------	---------	---------	----------	--

※ 実質資金収支：減価償却費等の現金の支出を伴わない費用(引当金を除く。)を除いた収支差。
資本的収支の不足額の充当財源となる。

(4) 販売電力量

<水力発電>

(単位: MWh, %)

区 分	21年度	20年度	差 引	前年度比	備 考
販売電力量	143,154	138,467	4,687	103.4	

※ 平成21~22年度売電単価：水力発電10.71円/kWh

<風力発電>

(単位: MWh, %)

区 分	21年度	20年度	差 引	前年度比	備 考
販売電力量	4,957	4,524	433	109.6	

※ 平成21~22年度売電単価：風力発電10.26円/kWh

3 資本的収入・支出

(税抜、単位:千円)

区 分	21年度	20年度	差 引	備 考
①資本的収入	289,315	84,781	204,534	
企業債	137,000	0	137,000	袋川発電所建設
国庫補助金	90,402	22,956	67,446	NEDO補助金
固定資産売却代金	32	1,825	△ 1,793	H20: 中部職員公舎・土地売却等
貸付金返済金	60,000	60,000	0	埋立事業会計
他会計負担金	1,881	0	1,881	公用車環境対応事業に係る一般会計負担金
②資本的支出	1,046,095	747,482	298,613	
建設改良費	401,214	121,822	279,392	(注)
企業債償還金	644,882	625,660	19,222	
差引(①-②)	△ 756,780	△ 662,701	△ 94,079	

(注) 建設改良費は、既設水力発電所の水車ランナー製造等発電設備改良工事に111百万円、袋川発電所建設工事費157百万円、殿ダム建設負担金133百万円で、計401百万円を支出しました。

4 借入金の状況

○企業債

(単位:千円)

前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末 未償還残高
5,023,250	137,000	644,882	4,515,368

(注) 建設改良費の充当財源として借入

平成21年度工業用水道事業会計決算概要

1 事業の概要

工業用水道事業は、安くて豊富な工業用水を企業等へ安定供給しています。

日野川工業用水道事業は、昭和43年に給水を開始し、平成21年度末現在、85社に49,700m³/日を給水しています。

鳥取地区工業用水道事業は、平成10年に給水を開始し、平成21年度末現在、3社に10,700m³/日を給水しています。

2 収益的収入・支出

(1) 経常収支

平成21年度の経常収益は、前年度より18百万円増の676百万円となりました。これは、日野川工業用水道で道路改良工事に伴う配水本管移設工事の補償金(営業外収益)が増加したことによります。

経常費用は、前年度より111百万円増の743百万円となりました。これは、日野川工業用水道の配水本管移設工事、漏水対策工事の経費が増加したことによります。

この結果、当年度経常損失は、67百万円となりました。

(2) 当年度純損失

平成21年度は、特別利益、特別損失とも計上されなかったため、当年度純損失は経常損失と同額の67百万円となりました。この結果、当年度未処理欠損金は1,835百万円となりました。

(3) 対前年比較

(税抜、単位：千円)

区 分	21年度	20年度	差 引	備 考
収 益	676,043	668,149	7,894	
営業収益	598,042	607,157	△ 9,115	
給水収益	598,042	607,157	△ 9,115	
営業外収益	78,001	51,115	26,886	配水本管移転補償金等
小計①(経常収益)	676,043	658,272	17,771	
特別利益	0	9,877	△ 9,877	
費 用	743,241	636,159	107,082	
営業費用	592,876	475,888	116,988	
業務費	545,418	439,588	105,830	配水本管移転工事等
一般管理費	47,458	36,300	11,158	退職給与金の増
営業外費用	150,365	156,358	△ 5,993	
小計②(経常費用)	743,241	632,246	110,995	
特別損失	0	3,913	△ 3,913	
当年度経常損益(①-②)	△ 67,198	26,026	△ 93,224	
当年度純損益(収益-費用)	△ 67,198	31,990	△ 99,188	
前年度繰越欠損金	1,767,665	1,799,655	△ 31,990	
当年度未処理欠損金	1,834,863	1,767,665	67,198	

実質資金収支	194,666	302,138	△ 107,472	
--------	---------	---------	-----------	--

※実質資金収支：減価償却費等の現金の支出を伴わない費用(引当金を除く。)を除いた収支差。
資本的収支の不足額の充当財源となる。

(4) 給水の状況

区 分	項 目	21年度末	20年度末	差 引	備 考
日野川工業用水道 (米子市、境港市、日吉津村)	契約給水量 (m ³ /日)	49,700	49,400	300	
	契約企業数	85	84	1	
	年間給水量 (千m ³)	11,759	13,506	△ 1,747	
鳥取地区工業用水道 (鳥取市)	契約給水量 (m ³ /日)	10,700	10,700	0	
	契約企業数	3	3	0	
	年間給水量 (千m ³)	3,072	2,972	100	

※給水料金単価

- 日野川 (既設) 20円/m³
- (石州府) 50円/m³
- 鳥取地区 45円/m³

3 資本的収入・支出

(税抜、単位:千円)

区 分	21年度	20年度	差 引	備 考
①資本的収入	638,506	325,992	312,514	
企業債	306,000	99,000	207,000	鳥取工水建設
出資金	194,232	186,766	7,466	一般会計からの鳥取工水への出資金
建設助成金	136,950	40,226	96,724	国庫補助金(鳥取工水)
固定資産売却代金	27	0	27	
他会計負担金	1,296	0	1,296	公用車環境対応事業に係る一般会計負担金
②資本的支出	819,945	486,009	333,936	
建設改良費	469,945	147,401	322,544	(注)
企業債償還金	350,000	338,608	11,392	
差引(①-②)	△ 181,439	△ 160,017	△ 21,422	

(注) 建設改良費は、殿ダム建設負担金213百万円、浄水場濁質処理施設増設等工事162百万円など、計470百万円を支出しました。

4 借入金等の状況

(1) 企業債

(単位:千円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末 未償還残高
日野川	2,995,502	0	155,768	2,839,734
鳥取地区	3,754,361	306,000	194,232	3,866,129
計	6,749,863	306,000	350,000	6,705,863

(注) 建設改良費の充当財源として借入

(2) 一般会計長期借入金

(単位:千円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末 未償還残高
日野川	682,000	0	0	682,000

(注) 石州府への給水事業で発生する赤字分を借入

(3) 一般会計出資金

(単位:千円)

	前年度末繰入累計	当年度繰入額	当年度末累計額
鳥取地区	1,057,010	194,232	1,251,242

(注) 企業債の元金償還金相当額について出資を繰入

平成21年度埋立事業会計決算概要

1 事業の概要

埋立事業は、埋立造成した3箇所の工業団地（境港外港昭和地区、米子港旗ヶ崎地区、境港外港竹内地区）と(財)米子崎津地区開発促進公社の解散に伴い取得した米子崎津地区工業団地の分譲を行っています。

また、附帯事業として「みなと温泉館」を平成10年から開館し、平成17年4月から鳥取県ビルメンテナンス協同組合を指定管理者として指定し、運営を行っています。

2 収益的収入・支出

(1) 経常収支

平成21年度の経常収益は、前年度より2百万円減の148百万円となりました。

経常費用は、前年度より14百万円増の127百万円となりました。

この結果、当年度経常利益は21百万円となり、前年度より16百万円の減となりました。

(2) 当年度純損失

みなと温泉館敷地の土地交換に伴い、特別損失78百万円を計上したため、当年度は純損失54百万円となりました。

当年度末処理欠損金54百万円は、利益積立金を取り崩して充当します。

(3) 対前年比較

(単位：千円)

区 分	21年度	20年度	差 引	備 考
収 益	150,841	2,397,164	△ 2,246,323	
営業収益	126,590	121,790	4,800	
土地売却収益	42,817	38,017	4,800	
その他営業収益	83,773	83,773	0	長期貸付料
営業外収益	21,664	28,351	△ 6,687	
小計①(経常収益)	148,254	150,141	△ 1,887	
特別利益	2,587	2,247,023	△ 2,244,436	
過年度損益修正益	2,587	0	2,587	
その他特別利益	0	2,247,023	△ 2,247,023	H20:一般会計借入金利息免除
費 用	205,013	113,399	91,614	
営業費用	127,254	113,142	14,112	
土地売却原価	54,871	43,265	11,606	
一般管理費等	72,383	69,877	2,506	
営業外費用	207	257	△ 50	
小計②(経常費用)	127,461	113,399	14,062	
特別損失	77,552	0	77,552	
固定資産売却損	77,552	0	77,552	みなと温泉館敷地の土地交換

当年度経常損益(①-②)	20,793	36,742	△ 15,949	
当年度純損益(収益-費用)	△ 54,172	2,283,765	△ 2,337,937	

実質資金収支	88,427	92,743	△ 4,316	
--------	--------	--------	---------	--

※実質資金収支：減価償却費等の現金の支出を伴わない費用(引当金を除く。)を除いた収支差。
資本的収支の不足額の充当財源となる。

(4) 分譲状況

平成22年3月末現在(単位: ha)

工業団地名	造成面積	売却面積	長期貸付面積	未分譲面積	うち工業団地
昭和	153.7	151.7	0.0	2.0	0.0
旗ヶ崎	41.9	40.2	0.9	0.8	0.8
竹内	128.6	96.7	12.2	19.7	16.5
崎津	24.5	0.0	0.0	24.5	24.5

①平成21年度の土地売却

地区	企業名	売却面積(m ²)	売却代金(千円)	21年度 収入額(千円)
竹内	(株) エムズコレクション	2,000	24,000	4,800

※22年度以降残金19,200千円収入(割賦年額1,920千円×10年)

②過年度の割賦販売

割賦販売者数	売却面積(m ²)	割賦年額(千円)	割賦期間
竹内(6社)	17,671	38,017	H15~27

③過年度の長期貸付

長期貸付者数	貸付面積(m ²)	貸付年額(千円)	貸付期間
竹内(6社)、旗ヶ崎(1社)	130,768	83,773	H13~39

④みなと温泉館の利用状況

平成21年度の入館者数は98,787人で、前年度より1.3%減少しました。

	21年度	20年度	差引	前年度比(%)
入館者数(人)	98,787	100,110	△1,323	98.7

※収入の1/10を企業局に納付することとなり、平成21年度の納付金額は4,216千円でした。

3 資本的収入・支出

(単位:千円)

区分	21年度	20年度	差引	備考
①資本的収入	0	0	0	
②資本的支出	73,154	60,000	13,154	
建設改良費	13,154	0	13,154	崎津工業団地残土敷均工事等
他会計借入金償還金	60,000	60,000	0	電気事業会計
差引(①-②)	△73,154	△60,000	△13,154	

4 借入金の状況

(1) 一般会計長期借入金

(単位:千円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度返済額	当年度末残高
竹内	4,275,932	0	0	4,275,932
崎津	3,656,764	0	0	3,656,764

(注) 竹内は土地造成のための借入、崎津は工業団地取得のための借入

(2) 電気事業会計長期借入金

(単位:千円)

前年度末残高	当年度借入額	当年度返済額	当年度末残高
120,000	0	60,000	60,000

(注) 一般会計借入金償還のための借入